

わかあゆ

<http://www.nakagawa.ed.jp/esbato/>

- 明るく・いつでも・さわやかに
- 3年生がクラブを見学
- お残しゼロ作戦（学校給食週間）
- 進捗率 77%（校舎補修工事進む）
- iPad と読み聞かせ（コラム）

平成 24 年 1 月 27 日
馬頭小学校
TEL0287-92-2025
FAX0287-92-2029

明るく・いつでも・さわやかに 1月16日～1月20日 児童会が「あいさつ運動」



1月16日（月）から1週間、「校内あいさつ運動」が展開されました。東・中央・西の各昇降口に児童会のメンバーと担当職員が立って、あいさつの呼びかけを行いました。

運動期間中の標語は、

- あ…あかるく
- い…いつでも
- さ…さわやかに
- つ…つなげる



普段は、恥ずかしがって、元気なあいさつができない児童もいますが、あいさつ運動が展開される中、しだいに、明るく元気なあいさつが返ってくるようになりました。期間中に限らず、いつでも、どこでも、さわやかなあいさつができるようにしたいものです。

【クラブの紹介】

クラブ名	活動場所	担当	主な活動
スポーツクラブ	校庭 体育館	豊田	サッカー・ドッジボール等
家庭科クラブ	家庭科室	田邊 大島	パフェやクレープ作り、クッション製作
ネイチャークラブ	校舎外	秋元 笹沼	川探検・勾玉作り・火おこし体験・七輪おこし活動
ゲームクラブ	理科室	小口	宝さがし・トランプ・ビンゴゲーム
図工クラブ	図工室	大野	キーホルダー作り・段ボール工作
コンピュータクラブ	コンピュータ室	川上	カレンダー・名刺作り、ネット体験
伝統文化クラブ	会議室	蓮見	押し花・そば打ち・茶道

3年生がクラブを見学

1月19日(木)5・6校時



1月19日（木）、3年生が来年のクラブ選択のために、クラブ活動を見学しました。2学級58名が7つの班に分かれ、7つのクラブを順に見学して歩きました。それぞれが、クラブ名や活動場所、担当の先生、活動内容が書かれた「クラブ見学カード」を持ち、活動が行われている場所をローテーションして歩きました。

（写真：伝統文化クラブ…町内在住の茶道家を講師に迎え茶道体験実施）



おれ、カリブ

クラブ活動の詳細を、学校ホームページで紹介しています。

お残しゼロ作戦

1月24日(火)～1月30日(月)
全国学校給食週間



【昼の校内放送】

- ・「給食の始まり」の歴史
- ・お残しゼロ作戦の説明
- ・給食の栄養
- ・食材への感謝



「全国学校給食週間」は、学校給食の意義や役割について、児童生徒や教職員、保護者、地域住民の理解と関心を深めるために、文部科学省が設定しました。12月24日が「学校給食記念日」ですが、この日は、多くの地域で冬休み期間に当たるため、1ヶ月後の1月24日から一週間としました。

— 本校における実践 —

- 1 昼の校内放送や各学級において、給食週間の由来や栄養について、食材への感謝、食事マナー等についての話をする。
- 2 お残しゼロ作戦（お残しを減らすため、配膳準備を早くしたり、きちんとかみ食することに集中させたり、カード記入で自己評価するなどを行う。）
- 3 その他、広報掲示、給食クイズ、交換給食（隣の学級の人と食べる。）などを実践する。

iPadと読み聞かせ ネットで買えぬ価値

一昨年2010年は「国民読書年」でした。そして、これに符号させるかのようにiPadやKindleが登場し、「電子書籍元年」とも言われました。

私は、離島で電子書籍は使えないと思うので、紙の本は手放せません。それに、通勤電車の中で読むサラリーマンや学生などには向いているかもしれませんが、子どもの絵本などにはなあ…と思っていました。出ていました。民話などがシリーズとなってネット発売されていたのです。しかも、「読み聞かせ」のナレーションが入っていたり、実際に父母がBGM付きで「読み聞かせ」できるモードがあったり、子ども自身が録音でき、音読の練習ができたり…等、多機能ぶりには驚かされます。学校では、読書活動に力を入れており、低学年などは家庭での「音読」も勧めていますので、このような優れたものが登場してくると、紙の本は負けてしまうなとも思いました。

しかし、比較してみてください。iPadは、液晶画面上で指をこすりページ送りをします。それは、何とも華麗です。一方、紙の絵本は、指でつまんでページをめくります。指が乾燥していると、すべるのでなめたりします。（これ、私だけ？）華麗とは言えません。でも、老練な「読み聞かせ達人」は、ページをゆっくりめくったり、速くめくったり、途中で止めたり、いろいろなテクニックを使って、子どもの心に揺さぶりをかけます。子どもも、ますます引き込まれ、本に食いついてきます。こんなこと、iPadではできません。さらに、想像してみてください。父母のいない部屋で、子どもが自分の指で枕元のiPadに電源を入れ、「読み聞かせモード」を選択し、ナレーションを聞きながら寝入る姿を。

こんなことを考えていたら、最近の新聞コラム（朝日1/22）でこんな記事を目にしました。アメリカのポーツマス（日露戦争講和条約締結の地）の一軒の書店ですが、ネット書籍販売に押され、赤字続きのため閉店しようとしたところ、多くの住民が、これを引き留めました。本屋はただの小売店ではない。街の文化を保つためには欠かせないというのです。そして、店を家賃の安い通りに引越すために、160人の住民が書店から倉庫まで在庫本を運ぶ「バケツリレー」をしたのです。アメリカはネット文化発祥の地でもあります。このように、ネットでは買えない価値を求める動きが出てきたことには、勇気づけられます。

たしかにデジタル化された生活は便利ですが、人のぬくもりを感じる「読み聞かせ」等の読書活動はこれからも大切にしていきたいものです。特に、教育現場においては、いくらデジタル化されても、心が通い合う授業は、教育の原点です。

進捗率77% 校舎補修工事進む



震災で被害を受けた「のびっ子教室」の補修工事を中心にその他の校舎外壁や犬走り等のヒビ割れの補修工事が進んでいます。1月25日現在での進捗率は77%です。まもなく、仕上げの塗装が行われ、2月中旬には完了します。

〈2月の読み聞かせの予定〉

三学期も、毎週火曜日の朝の読み聞かせで、高橋さん・黒川さん・益子さんにお世話になっています。

2月7日(火)

1-2 (黒川) 2-2 (益子) 3-2 (高橋)

2月14日(火)

1-1 (益子) 2-1 (高橋) 3-1 (黒川)

2月21日(火)

1-2 (益子) 2-2 (高橋) 3-2 (黒川)